

# すぽっとライト

マイクを持って街へ  
NO. 23

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、昨年度のバリアフリーリーダー選定委員会においてバリアフリーリーダーに選出されました(財)香川県老人クラブ連合会副会長藤川 恵一さんにお話を伺いました。



(財)香川県老人クラブ連合会  
副会長 藤川 恵一さん

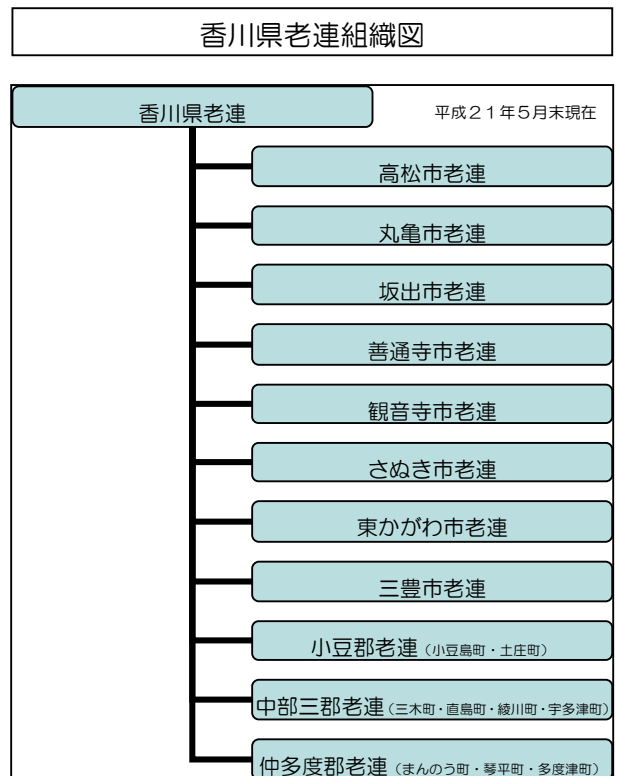
## ○ (財)香川県老人クラブ連合会ではどのようなことをされていますか。

香川県老人クラブ連合会は8市3郡の連合会で、会員は9万人います。

県老連の事業は、全国老人クラブの三大目標である健康、友愛、奉仕と21世紀プランという15程度のレクリエーション、学習活動を目指し

1. 健康づくり介護予防活動として、介護予防サポーターの養成講座、ニュースポーツ（ペタンク、グランドゴルフ）大会をしています。
2. 高齢者地域支え合い事業として、在宅福祉を支える友愛訪問をしています。
3. 組織活動の強化に向けて、老人クラブリーダーの育成のため研修会をしています。
4. 香川県老人クラブ大会を開催して、功労者の表彰や、市、郡の活動、主張発表をしています。

老人クラブの活動は市、町の地区にある単位クラブ（30～100人）が基本ですが、行事に制限がありますので、町が主体となっています。私のところの三木町老人クラブ連合会は22の単位クラブから成り立っており、会員は約1300人です。仏教会と合同で花祭りをしたり、高齢者スポーツ大会、旅行



などと年間10回、交通安全、健康、郷土の歴史、時事問題、演芸大会という内容で老人大学をしています（出席者600人位）。

また、教育委員主催の高齢者学級が地区ごとに年間8回開かれています。

女性委員会も指導者を招いて、月1回体操をしたり、年3回（5月、10月、11月）に寿司やおはぎなどを作って、寝たきりの方などを訪問しています。

## ○会員になるには？

老人クラブへの入会は、60歳以上でその地区に住んでいることが条件です。会費は500円から2000円で地区により違います。

加入率は低く30パーセントくらいです。地区によってまちまちで、70、80パーセントのところもあります。

以前は60歳になったら入ってくれていましたが、今は60歳だとまだ若く、また、三木町では農家の方が多いため、農作業をしている人が多いですし、多くは兼業農家なので65歳くらいまでは勤めたりされています。このため、70歳前になったら入ってくれています。

## ○バスとマイカーとバリアフリーについて

実際のところ、病院などに行く場合、ほとんどの方が家の人に送り迎えしてもらっています。

最近のバスには車いすが乗れる装置などあるようですが、一般の人はそのことを知りません。

コミュニティバスのバス停を去年の4月に変えました。病院やショッピングセンターなどをバス停にしたのですが、問題は間隔があいているので、行きはいいですが、帰りは待たなければいけないことがあります。

コミュニティバスは採算が取れていませんが、故障が多いので新車を買うことにしたようです。三木町全体を走っていて、北から南まで5里（約20km）くらいあり、戻ってくるまでにかかり時間がかかってしまいます。

買い物したら30~40分で終わってしまいますから、1時間間隔くらいなら乗るかも知れません。

現在、マイカーを複数台保有している家庭も多くあります。家に車があって誰かが送り迎えしてくれるので、それに慣れてしまっているようです。

高齢者は自転車も乗らない、歩くのも面倒なので、乗り場まで数百メートルの距離があると、そこへ出て行くのがいやだと言います。また、バス停を近くに作ってくれという要望はよくあります。

バス停までの距離が200メートルもあると乗りません。昔はその方たちも200、300メートルは歩いていたものですが、今は歩きません。そのため、老人大学でも社協のバスで送り迎えをしています。

私の若い頃は高齢者は2キロくらい歩いていました。今は自転車に乗る人も

減りました。高齢者が自転車に乗るのも危ないというのもあります。

### ○老人クラブの方からバリアフリーについての意見や要望はありませんか？

地元の社協がきめ細かく業務をやってくれていますので、私は意見や要望はあまり聞いたことがありませんが、社協や地域包括センターにはあるかもしれません。

先ほども申し上げましたが、一般の人は、バスに車いすで乗れることを知りません。また、送り迎えをする人から言うと、家からバス停まで車で送って行くだけより、付き添いのことを考えるとそのまま車で目的地まで行った方がいいという方が多いと思います。

### ○あまりバスには乗りたくない？

以前、あるバスの会合で、医大へ乗合バスの乗り入れを提案したところ、沿線の自治体の人から乗る人がいないと反対を受けましたが、その後に沿線の住民を対象としたアンケートを実施したところ、乗りたいと言う人が多かったことがありました。その結果を受けて、医大に乗合バスが試験的に乗り入れることになりました。

高齢者は、家の人を勤めに出たりしていることもあるので、本当は送り迎えを頼まず、自分で移動したいという気持ちがあると思います。

### ○バリアフリー教室は小学生対象での開催が多いですが、バスの乗り方を併せた教室を老人クラブ会員対象で開催しませんか。

老人大学で年1回高松東署の方が交通安全ということで来てくれています。町のほうでも自転車の交通安全教室をやっています。私もそういうイベントに出ていますので、そのときに今回の話をして見ますので、希望者がいれば是非開催してほしいと思います。

(インタビュー実施日：平成21年10月6日(火) 聞き手：今西、井上)